

わたしたちの生活と地球温暖化について考えてみましょう

地球の周りには二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが、産業革命以降のわたしたち人間の経済活動により増え、CO₂は産業革命以前と比べて40%も増加しました。このCO₂に代表される温室効果ガスの増加により、地球の気温が上がっています。

地球温暖化による影響

東京の平均気温はここ100年くらいの間に約3℃も上昇しています。今以上の温暖化対策を取らなかった場合、東京における最高気温が30℃以上となる真夏日の日数は現在の約46日から21世紀末には年間約103日と、1年の3割が真夏日となってしまいます。

また、気温だけでなく最近増加している大型台風の発生、干ばつ、洪水、陸上や海の生物への影響、食糧生産や健康など人間への深刻な影響も既に出ています。



◆ CO₂削減・省エネの”かぎ”は家庭

都内のエネルギー消費量は2000年度比では、産業部門(工場など)、業務部門(ビルなど)、運輸部門のどの部門でも減少していますが、家庭部門だけが増加しています。家庭部門は都内全体のエネルギー消費量の3割を占めているため、家庭でのわたしたち一人ひとりの取り組みがとても重要です。



◆ 家庭での省エネのポイント

家庭でのエネルギー使用量を用途別に多い順にみると、お風呂やキッチンでの給湯用、エアコンやストーブによる暖房用、キッチンでのガス使用などの厨房用となっています。

お湯の温度を下げたり、湯量を抑えたり、冷房以上に暖房の使い方に気を付ける、キッチンでの省エネに気を付けることが大事なポイントになります。(図1参照)

家電製品別でみると、照明器具、冷蔵庫、エアコン、テレビが多く、約6割を占めます。これらの使い方を見直すことがポイントとなります。(図2参照)

図1: 都における家庭部門のエネルギー消費量の用途別割合(2017年度)

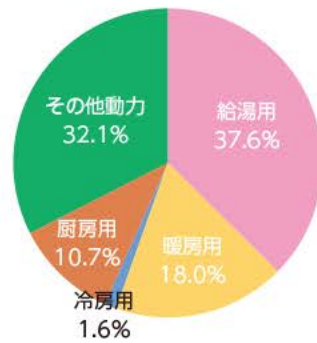
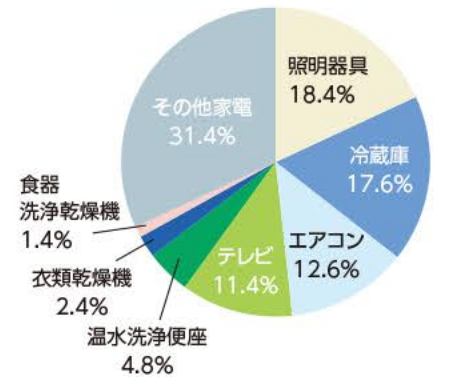


図2: 都における家庭部門の電気使用量の機器別割合(2017年度)



出典: 都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査(2017年度速報値)

お問い合わせ 環境課 普及啓発担当 TEL: 5246-1281

環境MVP2020 応募用紙

のりしろ (こちら側にのりを塗ります)
(たにあり)

1 家庭省エネ部門

①夏の電気・ガス使用量をご記入ください。(必須)
8月の使用量は9月分の検針票でご確認ください。前年同月分も検針票に記載されています。
※記入漏れがある場合、表彰対象外となります。

	電気使用量		ガス使用量	
	今年	昨年	今年	昨年
8月 ※9月分の検針票				
	kWh	kWh	m ³	m ³

・該当の場合は下記に☑してください。
 オール電化住宅のためガスの使用はありません。
 オールガス住宅のため電気の使用はありません。
※受賞者には後日、電気・ガスの検針票を提出して頂く場合があります。

②省エネをする上で行った取り組み等をご記入ください。(必須)

のりしろ (こちら側にのりを塗ります)
(たにあり)

2 花とみどりの部門

この応募用紙に、必ずみどりのカーテンや地先園芸の写真を同封してお送りください。
※記入漏れがある場合や写真が無い場合、表彰対象外となります。

応募区分 ※どちらかに○	みどりのカーテン・地先園芸
大きさ	みどりのカーテン 縦横 約 m ² (m × m) 地先園芸 長い辺の合計 約 m
植物の種類 (主なもの)	

●育てていて、良かったと思う点、設置して感じた効果をご記入ください。

●工夫した点や苦労したこと、自慢したい点等をご記入ください。

取り組んで頂いた方のお名前・お住まい等をご記入ください。(必須)

フリガナ	
お名前	
団体名	町会やPTA等で団体部門に応募する方は、団体名をご記入ください。
お住まい	〒 -
お電話	

同居しているご家族の人数をご記載ください。(家庭省エネ部門のみ 必須)

・今年のご家族の人数内訳(本人含む)
10代以下()人 20~30代()人
40~50代()人 60代以上()人

・昨年のご家族の人数内訳(本人含む)
※今年の家族人数と同じ場合は記入不要
10代以下()人 20~30代()人
40~50代()人 60代以上()人

台東区の環境情報をいち早くお届けするメールマガジンを発行しています。(月1回)
配信をご希望の方はメールアドレスをご記入ください。

@

※配信無料
(パソコン・スマートフォンのみ配信可能)

お問い合わせ 家庭省エネ部門 環境課 普及啓発担当 TEL: 5246-1281
花とみどりの部門 環境課 みどり担当 TEL: 5246-1323

※裏面にもご記入ください。